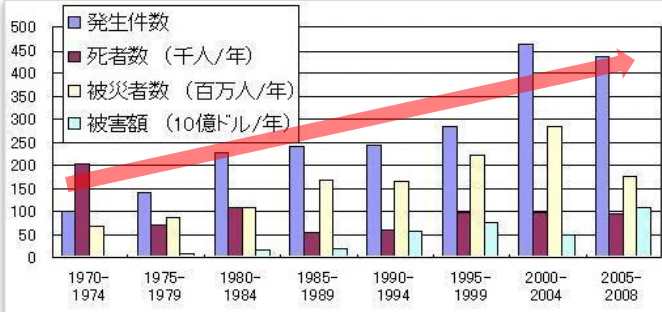


背景・目的

世界各地で自然災害が増加しており、災害に対する脆弱性を減らし、被害を軽減していくことは国際社会の重要課題。



これまで、自治体様向けのご支援として**防災部門**を中心としてご提供してきたが、最近では、**他部門の方からも気象リスクの解決策ご提供を求められることが増えてきている** (熱中症リスク、イベントの開催可否、施設管理...等)



自治体様で平時でも使ってもらえる気象情報コンテンツサービスニーズ増大

実験(トライアル)内容

テーマ① 平常時業務の中での気象情報活用

① 庁内ヒアリングの実施 (活用シーンの理解が深まる)

② 庁内トライアル利用 (1.5ヶ月間) => アンケート取得/分析

テーマ② 平常時と災害時の情報共有実験

災害を想定した情報投稿を実施し、庁内での運用、連携や住民との情報共有について実証



「ウェザーニューズ for business」(TM)

注: リスクロ(リスク運動型デジタルテクノロジーサービスの略称)

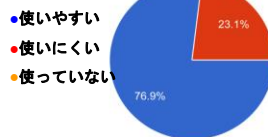
実験(検証)結果

テーマ① 平常時どういった部門、どういう業務シーンで、どんな気象情報を活用いただけそうかのヒントを多数いただくことができた。

例. **設備管理**
落雷リスクがあると機械を止めないといけない。リスクが出てきたタイミングとおさまるタイミングが知りたい。

テーマ② 業務での活用において、課題があることもわかった

災害報告の機能は使いやすかったですか?



- ・チャットボット式は分かりやすい
- ・入力事項を具体的に示してくれる
- ・LINEなので、投稿操作には慣れていた。
- ・地図がみやすい。
- ・項目が絞られていたので簡潔に入力することができた。
- ・操作手順を案内してくれるので、操作しやすかった。
- ・ユーザー登録中断のメッセージが途中で何度も出て来て、「作業を継続してください」と表示されても何をすればいいのかわかりにくかった。
- ・何段階か入力にステップがあるが、直感的に入力可能でUIとしては使いやすかった

今後の展望

令和5年度

令和6年度

今回の実験(検証)

全国1,700自治体への販売展開開始

機能追加/改修(Dev/Ops)

機能追加/改修(Dev/Ops)

令和5年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業